

年 表



年
表

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
1911 (明治44)			1.11 カイザー・ヴィルヘルム協会創立 (ドイツ)
1913 (大正2)	6. 高峰譲吉 国民科学研究所の必要性を提唱 6.23 高峰譲吉 築地精養軒にて「国民科学研究所設立の必要性」について演説		
1914 (大正3)	3.19 「化学研究所設立の請願」を貴衆両議院に請願 (議会散会のため目的達せられず)		7.28 第一次世界大戦勃発
1915 (大正4)	6.9 「理化学研究所設置」を決定(第36回帝国議会) 6.24 「理化学研究所」設立協議会開催(設立委員 渋沢栄一 以下18名)		1915-16年 アインシュタイン 一般相 対性原理を発表
1916 (大正5)	1.21 大隈重信内閣総理大臣宛に「理化学研究所」の 設立計画に際し政府の補助を建議 3.6 理化学を研究する公益法人の国庫補助に関する 法律公布 7.3 大隈重信首相 理化学研究所の設立発起協議会 開催		
1917 (大正6)	3.19 財団法人理化学研究所に対する民間寄附金の申 込済総額218万7000円に達し、財団法人設立 認可申請 3.20 財団法人理化学研究所設立 渋沢栄一を設立者総代として(財)理化学研 究所の設立を申請。皇室からの御下賜金、政府か らの補助金、民間からの寄付金を基にわが国の 産業の発展に資することを目的に東京・文京区 駒込の地に設立 <small>伏見宮貞愛親王殿下を総裁に奉載</small> 3.28 副総裁 菊池大麓 副総裁 渋沢栄一 4.26 皇室より御下賜金(毎年10万円ずつ、10年間) 6.29 長岡半太郎、池田菊苗 入所 初代所長 菊池大麓 物理学部長 長岡半太郎 化学部長 池田菊苗 8.19 菊池大麓 急逝 10.12 第2代所長 古市公威 11.12 鈴木梅太郎 入所		11.7 ロシア十月革命
1918 (大正7)	5.24 大河内正敏 入所 7.10 仁科芳雄 研究生として入所 12.19 真島利行 理研で最初の特許 インドールの製 造法	7. 富山県で米騒動	
1919 (大正8)	秋 鈴木梅太郎 合成酒の製造研究に着手		
1920 (大正9)		1.10 国際連盟に正式加入	
1921 (大正10)	4.5 仁科芳雄 留学 9.30 古市公威所長、櫻井錠二副所長辞職 10.7 第3代所長 大河内正敏 本多光太郎 入所 仁科芳雄 研究員に	4.11 尺貫法を廃し、メートル法採用	
1922 (大正11)	1.1 主任研究員制度発足(主任研究員が裁量権を もって研究室を主宰する制度)14研究室設置 1.24 池田菊苗ら「アドソール」関連の最初の特許 5.8 理研欧文報告創刊 6.7 理研彙報創刊 9.1 加藤セチ(理研初の女性研究者) 入所 9.13 高橋克己 ビタミンAをタラの肝油から分離抽出		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き	
1940 (昭和15)		9.27 日独伊三国軍事同盟	5.27 エドウィン・マクミラン サイクロトロンで93番元素Np-238を合成（最初の元素合成の報告）	
1941 (昭和16)	7. 理研重工業ほか6社の合併により理研工業 設立	12.8 太平洋戦争勃発		
1942 (昭和17)	3.20 創立25周年記念祝賀式開催、『研究二十五年』発行			
1943 (昭和18)	12. 大サイクロトロン（60インチ、210トン）完成		11.9 イタリア王国 無条件降伏	
1944 (昭和19)		12.7 東南海地震（M7.9）		
1945 (昭和20)	4.13-14 東京空襲により駒込の建物の3分の2、設備のほとんどを失う	3.10 東京大空襲	5.7 ドイツ 降伏文書に調印	
	8.8-15 仁科芳雄らは新型原子爆弾と確認、広島・長崎を相次いで科学的調査	8.6 広島に原爆投下される 8.9 長崎に原爆投下される 8.10 ポツダム宣言受諾、太平洋戦争終結		
	11.24 サイクロトロン2基は、米国占領軍により破壊され海洋に投棄される	9.2 降伏文書に調印		
	12.6 大河内正敏 A級戦犯として指定、12.13巣鴨拘置所に収監、翌年4月釈放			
1946 (昭和21)	10.25 大河内正敏 財団理研所長辞任	11.3 日本国憲法公布（1947.5.3施行）		
	11.11 第4代所長 仁科芳雄			
1947 (昭和22)	1. 過度経済力集中排除（財閥解体指令）により理研産業団解体			
	6. ペニシリン（肺炎等治療薬）の培養に成功			
1948 (昭和23)	3.1 「財団法人理化学研究所に関する措置に関する法律」に基づき財団理研は解散、株式会社科学研究所（第1次）設立 初代社長 仁科芳雄	12.19 GHQ、経済安定9原則を指令	2.26 カイザー・ヴィルヘルム協会解散、マックス・プランク協会設立（ドイツ）	
			6.26 ウィリアム・ショックレー、バイポーラトランジスタの特許申請	
1949 (昭和24)		10. 湯川秀樹 ノーベル物理学賞受賞	10.1 中華人民共和国成立	
1950 (昭和25)	10. ストレプトマイシン（結核治療薬）の製造に着手		5. 国立科学財団（NSF）設立（アメリカ） 6.25 朝鮮戦争勃発	
1951 (昭和26)	1.10 仁科芳雄 没	9.8 サンフランシスコ講和条約署名（1952.4.28発効） 日米安全保障条約署名		
	2. 第2代社長 阪谷希一			
1952 (昭和27)	8.4 （第1次）（株）科学研究所の研究部門と生産部門の事業を分離し、研究部門のみを継承した（第2次）（株）科学研究所設立 初代会長 亀山直人、初代社長 村山威士 生産部門は科研化学（株）〔現科研製薬（株）〕となる			
	12.29 小型サイクロトロン完成（3号機）			
1953 (昭和28)		2.1 NHKテレビ放送開始		
1954 (昭和29)		1954.1-1957.6 神武景気	3.1 第五福竜丸が米国の水爆実験によって死の灰を浴びる	
			9.29 欧州原子核研究機構（CERN）設立	
1956 (昭和31)	2.4 （第2次）（株）科学研究所解散 （第3次）（株）科学研究所設立 初代会長 亀山直人、初代社長 村山威士	1.1 原子力委員会設置		
		5.19 科学技術庁設置（2001、文部省と統合）		
	10. 第2代会長 村山威士、第2代社長 佐藤正典	6. 日本原子力研究所設立（統合により、現在は国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構）		
		7. 金属材料技術研究所設立（統合により、現在は国立研究開発法人 物質・材料研究機構） 8.10 原子燃料公社設立（1967、動力炉・核燃料開発事業団に吸収）		

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
		10.8 佐藤栄作元首相、Seán MacBride ノーベル平和賞受賞	
1975 (昭和50)	4.16 第4代理事長 福井伸二	5. 日独科学技術協力協定にもとづく第1回合同委員会開催	2. 組換えDNA分子に関するアシロマ会議 5.30 欧州宇宙局 (ESA) 設立
1976 (昭和51)		10.29 科学技術庁に地震予知推進本部を設置	
1977 (昭和52)	3.8 和光隣接地約1万m ² (約3000坪)が政府より現物出資		
1978 (昭和53)	11.18 第1回科学講演会開催	5. 航空・電子等技術審議会設置	
1979 (昭和54)		5.2 エネルギー分野の研究開発に関する日米協力協定 6.28 第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催 8.9 科学技術会議第8号答申(遺伝子組換え研究の推進について) 8. 組換えDNA実験指針ガイドラインを決定	3.28 アメリカ、スリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故 1979-80年 第2次オイルショック
1980 (昭和55)	3. リニアック完成 4.22 第5代理事長 宮島龍興 7.31 遺伝子組換え研究施設(P1~P4)、茨城県筑波郡谷田部町(現つくば市)に建設方針を決定	3. 筑波研究学園都市概成	
1981 (昭和56)		9. 日米エネルギー協定に基づく「光合成による太陽エネルギー転換プロジェクト」を取り決め 10. 創造科学技術推進制度(ERATO)発足 10.18 福井謙一、Roald Hoffmann ノーベル化学賞受賞	4.12 スペースシャトル初飛行(アメリカ)
1982 (昭和57)	5.4 中国科学院と研究協力協定		
1983 (昭和58)	2.23 研究室業績レビュー開始	1.27 青函トンネル開通	この年 ESPRIT (European Strategic Program on Research in Information Technology) 発足
1984 (昭和59)	1.30 パスツール研究所(仏国)と姉妹研究所 3.31 組換えDNA実験棟完成 5.3 連邦科学産業研究機構(オーストラリア)と研究協力協定 6.28 マックス・プランク協会(独国)と研究協力協定 10.1 ライフサイエンス筑波研究センター(現筑波研究所)を筑波研究学園都市(茨城県つくば市)に開設、初代所長 深田栄一	4.24 科学技術会議第10号答申(ライフサイエンスの研究開発基本計画) 11.27 科学技術会議第11号答申(長期展望に立った科学技術の振興の基本方針について)	
1985 (昭和60)		3.17-9.16 国際科学技術博覧会(科学万博つくば'85)開催 6.1 男女雇用機会均等法成立 7.1 臨時行政改革審議会発足(答申は翌年6.10)	
1986 (昭和61)	10.1 国際フロンティア研究システム(I期)を現和光地区に開設、初代システム長 久保亮五	3. 科学技術政策大綱閣議決定 8.13 H-Iロケット打ち上げに成功 12. バブル景気始まる	1.28 スペースシャトル「チャレンジャー」爆発事故(アメリカ) 4.26 チェルノブイリ原発事故(ソ連)
1987 (昭和62)	1.23 リングサイクロトロン完成 9.30 「理化学研究所と親しむ会」発足	4.1 国鉄分割、JR7社発足 10.12 利根川進 ノーベル生理学・医学賞受賞	2.23 超新星SN 1987A観測される 6.8 ベネチア・サミットでヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム提案 11. 地球温暖化に関するペラジオ会議(持続可能な開発の概念を提唱)

年	理研の歩み	日本の動き	世界の動き
2015 (平成27)	3.31 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター廃止	10.5 William Cecil Campbell、大村智、屠呦呦 ノーベル生理学・医学賞受賞	11.13 パリ同時多発テロ事件
	4.1 独立行政法人理化学研究所の名称を国立研究開発法人理化学研究所に変更 初代理事長 松本紘	10. マイナンバー通知開始 10.6 梶田隆章、Arthur Bruce McDonald ノーベル物理学賞受賞	
	7.1 社会知創成事業を産業連携本部へ改称		
	12.31 113番元素の命名権獲得		
2016 (平成28)	3.1 科学技術ハブ推進本部設置	4.14- 熊本地震 4.16 (M7.3) が本震とされている	2.11 LIGOで重力波を検出 (検出は2015.9.14)
	3.30 運営・改革モニタリング委員会による再発防止策の最終確認	5.11 特定国立研究開発法人による研究開発等の促進に関する特別措置法成立 (10.1施行)	6.23 英国、国民投票でEU離脱を決定
	4.14 革新知能統合研究センター開設	10.3 大隅良典 ノーベル生理学・医学賞受賞	11.4 地球温暖化対策パリ協定発効
	10.1 特定国立研究開発法人に指定		
	11.1 数理創造プログラム開設		
	11.30 113番元素の元素名が「nihonium (ニホニウム)」、元素記号が「Nh」に決定		
2017 (平成29)	3.28 「滲出型加齢黄斑変性に対する他家iPS細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植に関する臨床研究」の1例目の移植手術の実施		
	4.26 理化学研究所創立百周年記念式典開催 日本郵便から「理化学研究所創立100周年」記念切手発行		

	役職	氏名	在任期間
センター長	遺伝子多型研究センター長	豊島久真男	2000.4.1 ~ 2003.9.30
	バイオリソースセンター長	森脇和郎	2001.1.1 ~ 2003.9.30
	免疫・アレルギー科学総合研究センター長	谷口 克	2001.7.1 ~ 2003.9.30
プロジェクト管理役	ゲノム科学総合研究センター	栗原良樹	2002.4.2 ~ 2003.9.30
	遺伝子多型研究センター	藤原正彦	2000.10.1 ~ 2003.3.31
	植物科学研究センター	尾野了一	2000.7.1 ~ 2003.3.30
	免疫・アレルギー科学総合研究センター	加藤武雄	2001.9.1 ~ 2003.9.30
海外	発生・再生科学総合研究センター	関 理夫	2000.11.17 ~ 2003.9.30
	理化学研究所RAL支所長	永嶺謙忠	1995.4.1 ~ 2002.3.31
	理研BNL研究センター長	岩崎雅彦 李 政道	2002.4.1 ~ 2003.9.30 1997.10.1 ~ 2003.9.30

所長・センター長 (独立行政法人)

	役職	氏名	在任期間	
所長	和光研究所長	上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31	
		茅 幸二	2004.4.1 ~ 2008.3.31	
		土肥義治	2008.4.1 ~ 2010.3.31	
		小川智也	2010.4.1 ~ 2013.3.31	
	和光事業所長	小川智也	2013.4.1 ~ 2014.3.31	
		古屋輝夫	2014.4.1 ~ 2014.12.31	
		齋藤茂和	2015.1.1 ~ 2015.3.31	
	筑波研究所長	森脇和郎	2003.10.1 ~ 2008.3.31	
		小幡裕一	2008.4.1 ~ 2013.3.31	
	筑波事業所長	小幡裕一	2013.4.1 ~ 2015.3.31	
	播磨研究所長	飯塚哲太郎	2003.10.1 ~ 2005.9.30	
		壽榮松宏仁	2005.10.1 ~ 2008.3.31	
		倉持隆雄	2008.4.1 ~ 2008.7.10	
		藤嶋信夫	2008.7.11 ~ 2010.3.31	
		石川哲也	2010.4.1 ~ 2013.3.31	
	播磨事業所長	石川哲也	2013.4.1 ~ 2015.3.31	
	横浜研究所長	小川智也	2003.10.1 ~ 2010.3.31	
		大熊健司	2010.4.1 ~ 2013.3.31	
	横浜事業所長	加藤孝男	2013.4.1 ~ 2014.3.31	
		鈴木 貴	2014.4.1 ~ 2015.3.31	
	神戸研究所長	竹市雅俊	2003.10.1 ~ 2013.3.31	
	神戸事業所長	齋藤茂和	2013.4.1 ~ 2014.7.25	
		小畔敏彦	2014.7.26 ~ 2015.3.31	
		加藤武雄	2003.10.1 ~ 2005.9.30	
	副所長	横浜研究所副所長	栗原良樹	2003.10.1 ~ 2004.8.31
			袴着 実	2004.9.1 ~ 2005.3.30
			大森勝良	2005.4.1 ~ 2006.6.29
			船橋英夫	2006.7.12 ~ 2009.7.13

	役職	氏名	在任期間	
副所長	横浜研究所副所長	河原正行	2008.7.11 ~ 2011.9.1	
		野家 彰	2009.7.14 ~ 2012.3.30	
		加藤孝男	2012.4.1 ~ 2013.3.31	
	播磨研究所副所長	壽榮松宏仁	2004.12.1 ~ 2005.9.30	
		木田光春	2006.2.1 ~ 2012.9.30	
	神戸研究所副所長	関 理夫	2003.10.1 ~ 2004.6.15	
		船橋英夫	2004.5.31 ~ 2006.7.11	
		岩橋理彦	2006.7.12 ~ 2007.7.5	
		村田貴司	2007.7.6 ~ 2009.3.30	
		田中正朗	2009.7.15 ~ 2010.12.30	
		齋藤茂和	2011.4.1 ~ 2013.3.13	
	センター長	中央研究所長	上坪宏道	2003.10.1 ~ 2004.3.31
			茅 幸二	2004.4.1 ~ 2008.3.31
		フロンティア研究システム長	丸山瑛一	2003.10.1 ~ 2005.3.31
玉尾皓平			2005.4.1 ~ 2008.3.31	
基幹研究所長		玉尾皓平	2008.4.1 ~ 2013.3.31	
創発物性科学研究センター長		十倉好紀	2013.4.1 ~ 2015.3.31	
光量子工学研究領域長		緑川克美	2013.4.1 ~ 2015.3.31	
環境資源科学研究センター長		篠崎一雄	2013.4.1 ~ 2015.3.31	
フォトダイナミクス研究センター長		潮田資勝	2003.10.1 ~ 2005.9.30	
バイオ・ミメティックコントロール研究センター長		細江繁幸	2003.10.1 ~ 2008.9.30	
脳科学総合研究センター長	甘利俊一	2003.10.1 ~ 2008.3.31		
	田中啓治	2008.4.1 ~ 2009.3.31		
	利根川 進	2009.4.1 ~ 2015.3.31		
ゲノム科学総合研究センター	センター所長	和田昭允	2003.10.1 ~ 2004.3.31	
	センター長	榑 佳之	2004.4.1 ~ 2008.3.31	
オミックス基盤研究領域長	林崎良英	2008.4.1 ~ 2013.3.31		
生命分子システム基盤研究領域長	横山茂之	2008.4.1 ~ 2013.3.31		
生命情報基盤研究部門長	豊田哲郎	2008.4.1 ~ 2013.3.31		
植物科学研究センター	杉山達夫	2003.10.1 ~ 2005.3.31		
	篠崎一雄	2005.4.1 ~ 2013.3.31		
発生・再生科学総合研究センター長	竹市雅俊	2003.10.1 ~ 2014.11.20		
多細胞システム形成研究センター長	柳田敏雄	2014.11.21 ~ 2015.3.31		
統合生命医科学研究センター長	遺伝子多型研究センター長	豊島久真男	2003.10.1 ~ 2005.3.31	
		中村祐輔	2005.4.1 ~ 2008.3.31	
	ゲノム医科学研究センター長 (改称)	中村祐輔	2008.4.1 ~ 2010.3.31	
		鎌谷直之	2010.4.1 ~ 2011.12.18	
	免疫・アレルギー科学総合研究センター長	久保充明	2011.12.19 ~ 2013.3.31	
谷口 克	2003.10.1 ~ 2013.3.31			
小安重夫	2013.4.1 ~ 2015.3.31			

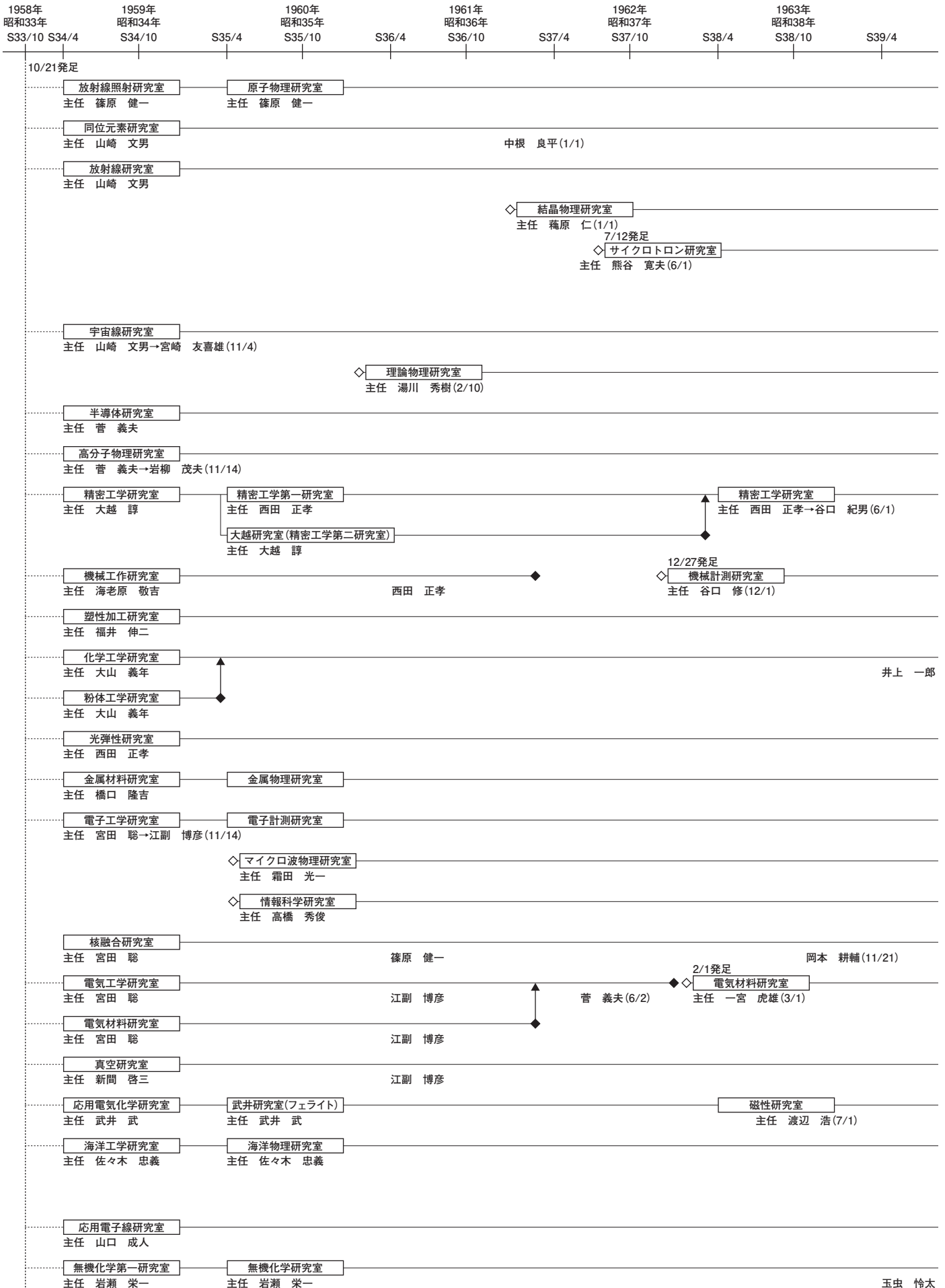
研究課題	担当研究室	期間
(16) 環境放射線による情報の迅速解析に関する研究	放射線研究室他	1971~1973
(17) 放射線核種による海洋環境の汚染に関する研究	海洋物理研究室他	1972~1973
(18) 環境における中性子線の情報の把握と線量に関する研究	放射線研究室	1974~1982
(19) 新海底測流調査	海洋計測工学第1研究室	1978~1980
(20) 重イオン加速器による総合研究	サイクロトロン研究室他	1978~1982
[重イオン科学総合研究]		
(1) 超重元素生成反応に関する計測技術の開発	サイクロトロン研究室他	1983~1985
(2) 高励起重イオンの放出するX線及び電子線の研究	原子過程研究室他	1983~1985
(3) 極微量物質の分析法の開発	核化学研究室他	1983~1985
(4) 重イオン損傷の生物・化学機構に関する研究	放射線生物学研究室他	1983~1985
(5) 重イオン照射による固体材料の損傷と核融合炉材料評価法の研究	金属物理研究室他	1983~1985
(6) 超重元素及び新不安定同位元素の研究	加速器基盤研究部他	1986~2002
(7) 中間子・ミュオン粒子、中性子及び放射性原子の発生とその応用研究	磁性研究室他	1986~1999
(8) 高エネルギー高電離重イオンによる原子物理の研究	原子過程研究室、原子物理研究室等	1986~2002
(9) 重イオンによる生物効果研究	放射線生物学研究室他	1986~2002
(10) 不安定核ビームを用いた核科学の研究	RIビーム科学研究室	1990~2002
(11) リングサイクロトロンによる高温・高密度原子核の研究	延與放射線研究室他	1986~
i) スピン物理研究	延與放射線研究室他	1995~
ii) 理研BNL研究センター (アメリカ)	延與放射線研究室他	1997~
(12) ミュオン科学研究 (理研RAL支所・イギリス)	岩崎先端中間子研究室	2000~
[原子力基盤技術開発研究]		
(1) 原子力用短波長レーザーの開発研究	レーザー科学研究グループ	1988~1989
(2) 原子力レーザー技術開発研究	レーザー科学研究グループ	1990~2002
(3) 原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発	化学工学研究室他	1988~1993
(4) 放射線測定技術の高度化に関する研究	宇宙放射線研究室他	1991~1993
[原子力基盤技術総合的研究]		
(1) 原子力新レーザーの開発研究	半導体工学研究室他	1989~1993
(2) 原子力用人工知能を具備した原子力施設のシステム評価研究	化学工学研究室他	1989~1993
(3) 放射線による染色体異常の高速自動解析システムに関する研究	放射線生物学研究室	1989~1993
(4) 放射性核種の環境中移行の極地規模総合的モデルに関する研究	微生物制御研究室	1991~1995
(5) 陽電子ビームの発生・制御技術の高度化に関する研究	サイクロトロン研究室	1994~1998
(6) 高輝度放射光の先端利用のための基盤技術の研究	半導体工学研究室他	1994~1998
(7) 自律型プラントのための分散協調知能化システムの開発	生化学システム研究室他	1998~1998
(8) 原子力用レーザー実用化の研究開発	レーザー科学研究グループ	1998~1998
(9) 新たなDNA解析手法を応用した放射線突然変異の検出・解析技術の開発	細胞生理学研究室他	1998~1998
(10) 原子力用構造物の巨視的/微視的損傷の計算力学的解析法の開発とその応用	素形材工学研究室	1998~1998
(11) 陸域環境における放射性核種の移行に関する動的解析モデルの開発	微生物制御研究室他	1998~1998
(12) 高品質陽電子ビームの高度化研究	半導体工学研究室他	1999~2003
(13) マルチレーザーの製造技術の高度化研究	細胞生理学研究室他	1999~2003
[原子力基盤技術利用研究]		
(1) 原子力用レーザー技術の利用研究		
i) X線非線形光学応用技術開発研究	レーザー物理工学研究室他	1998
ii) 軟X線レーザーの高度化・先端利用研究	半導体工学研究室他	1998~2002
(2) 放射性ナノ粒子の計測・制御技術の開発	レーザー反応工学研究室	1998~2003
(3) 放射線障害修復機構の解析による生体機能解明研究	細胞生理学研究室他	1999~2003
(4) 放射線核種の土壌生態圏における動的解析モデルの研究	微生物制御研究室他	1999~2003
(5) 人間共存型プラントのための知能化技術の開発	生化学システム研究室他	1999~2003
(6) 計算科学的手法による原子力施設における物質挙動に関する研究	素形材工学研究室他	1999~2003
(7) 高速量子現象計測のためのアト秒パルス技術の開発	レーザー物理工学研究室	1999~2003
[レーザー法によるウラン同位体分離・濃縮研究]		
(1) 赤外レーザーによるウラン同位体の分離・濃縮に関する研究	レーザー科学研究グループ他	1985~1987
(2) ガスレーザー高度化技術研究	レーザー科学研究グループ他	1987
(3) ウラン濃縮に関するレーザー科学応用研究	レーザー科学研究グループ他	1988~1992
(4) 分子レーザー法ウラン濃縮に関するブレイクスルー研究	レーザー科学研究グループ他	1993~1998
[機動的先端研究/バイオクロストーク機能研究]		
[原子力用短波長レーザーの開発研究]		
[原子力用プラント内保全作業用ロボットシステムの研究開発]		
[RIビームファクトリー研究]		
8・農業関係研究		
(1) 細胞壁合成阻害剤及びアミノ酸農薬の開発研究	微生物薬理研究室他	1971~1973
(2) 幼若ホルモン及びその関連化合物の害虫防除への利用	昆虫薬理研究室他	1972~1974
(3) 植物の生育調節に関する研究	植物化学研究室他	1973~1975
(4) 抗植物ウイルス剤の開発に関する研究	微生物薬理研究室他	1974~1976
(5) ニカメイチュウの性フェロモンに関する研究	昆虫薬理研究室他	1975~1977
(6) 合成及び天然新植物生長抑制物質に関する研究	植物化学研究室他	1977~1980

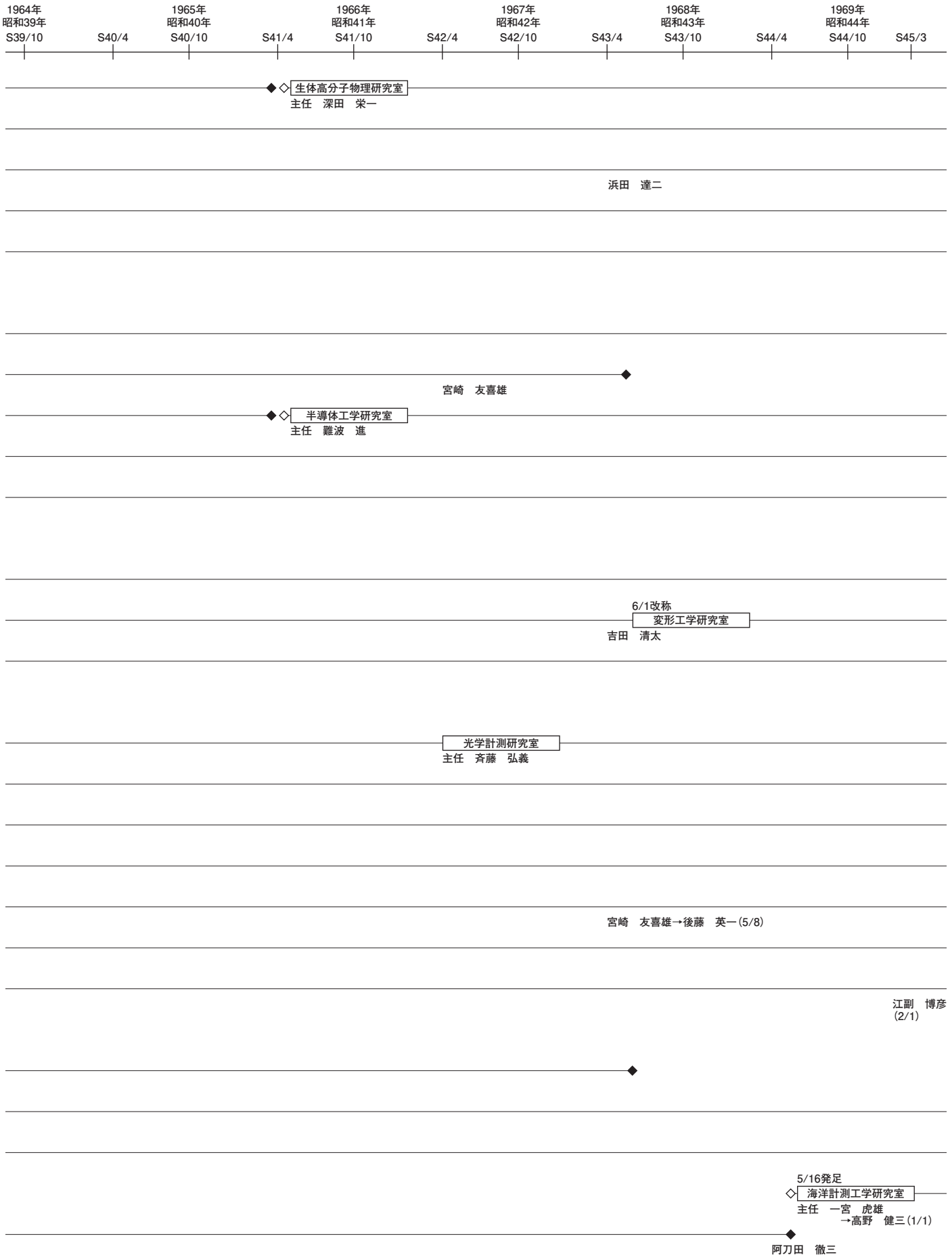
相手国・地域	相手機関	協力概要	締結(発効)時期	終了時期	関連研究センター
多国間	FANTOM3 13カ国約80機関	完全長cDNA技術に加え新たに開発したCAGE法を使い、ゲノムの約2%の領域しか転写されていないという従来の常識を覆し、実際には63%以上がRNAとして転写されていることを示した。さらに、これまで100個程度しか知られていなかったノンコーディングRNA(ncRNA)が、2万3000個以上も存在することを明らかにし「RNA新大陸」の発見として教科書を書き換える成果を得た。また、転写産物の73%以上がセンス/アンチセンスペアとして転写されていることも発見した。	2002	2005	GSC
	ENCODE (Encyclopedia of DNA elements) プロジェクト 10カ国以上80機関以上	米国NIHが主導する、ヒトゲノムのすべての機能要素の解析を目指す国際プロジェクト。理研はプロジェクトの第一、第二フェーズ(～2012)に参画し、独自に開発したCAGE法により、大きく貢献した。理研は現在参画していない。	2003.9	継続中	GSC、OSC
	FANTOM4 約15カ国約50機関	単球細胞の分化過程における転写開始点(TSS)の動的活性をdeepCAGE法で経時的に解析した。得られた各プロモーターからの遺伝子発現レベルのデータと転写因子結合部位の推定データを使い、転写制御ネットワークモデルを構築した。また、転写開始RNA(tRNA)、レトロトランスポゾン由来の転写産物の発見、転写因子間相互作用による制御機構の関係についても報告した。	2006	2009	GSC、OSC
	ドイツ電子シンクロトロン研究所/アメリカスタンフォード大学 スタンフォード線形加速器センター/日本 JASRI	放射光科学分野での4者協力	2006.12	2011.12	RSC
	FANTOM5 20カ国以上約100機関	ほ乳類の体を構成する多くの初代培養細胞、臓器や多数の細胞株において、転写産物や転写因子、プロモーター、エンハンサーの活性をCAGE法を用いて測定した。また、ある細胞から特定の細胞種への分化など、細胞の表現型が変わるとき、遺伝子から離れた位置にあり遺伝子の転写効率に関わる制御を行うエンハンサーの活性化が、一連の遺伝子発現の変化に先行して起きることを明らかにした。長鎖ノンコーディングRNA(lncRNA)のヒトゲノム上での正確な位置や配列の特徴、細胞や組織での発現パターンを示した「ヒトlncRNAアトラス(地図)」を報告した。正確なlncRNAの転写開始点や、ヒトの代表的な細胞における発現パターンも記載した。	2009	2015	OSC、予防医療、CLST/DGT
	韓国国家研究素材センター/中国科学院 微生物研究所微生物資源中心	バイオリソースに関する3者協力	2009.9	2020.10	BRC
	イタリア バレルモ大学/スウェーデン ストックホルム大学	免疫・アレルギー分野連での3者での連携大学院プログラム	2011.5	2016.5	IMS
	コロンビア 熱帯農業国際センター/ベトナム農業科学院 農業遺伝学研究所	植物科学における協力(キャッサバ分子育種研究での国際連携研究室設置)	2012.7	2017.7	CSRS
	シンガポール 南洋理工大学/タイ チュラロンコン大学	自然科学・医学、及び社会科学、人文学における協力のための3者覚書	2014.12	2019.12	
	ロシア・カザン大学 基礎医学生物学研究所/順天堂大学 医学部	予防医療に関する3者協力	2015.1	自動更新	PMI
	FANTOM6 20カ国以上約60機関	FANTOM6 ヒトゲノム中の長鎖ノンコーディングRNA(lncRNA)の網羅的な機能解明	2015	継続中	CLST/DGT
	アメリカ システムズバイオロジー研究所/ドイツ テュービンゲン大学 個別化医療センター	マイクロバイオーム・慢性炎症等に関する研究者交流等覚書	2016.10	2018.3	IMS
アイルランド	ダブリン大学 アイルランドシステムバイオロジー研究所	システムバイオロジーおよび免疫学に関する研究者交流等枠組み協定	2010.3	2018.3	IMS、QBIC
アメリカ合衆国	デュボン社	—	1985.7	1994.6	DRI
	イリノイ大学、ジョージア大学他	日米エネルギー研究開発協力の一環として、光合成による太陽エネルギー変換に関する研究者交流等	1986.10	2001.7	
	アリゾナ大学	新生物制御科学研究(砂漠植物からの新規天然物質の応用)	1988.4	1993.3	DRI
	ワシントン大学	—	1988.6	1990.9	BRC
	カンザス州立大学	基礎原子物理分野での協力覚書	1991.10	2009.3	ASI
	ジョンズ・ホプキンス大学	ゲノム科学研究	1992.9	1995.3	BRC

主任研究員研究室（特殊法人時代）（1-1）



研究室の推移
主任研究員研究室（特殊法人時代）（1-1）



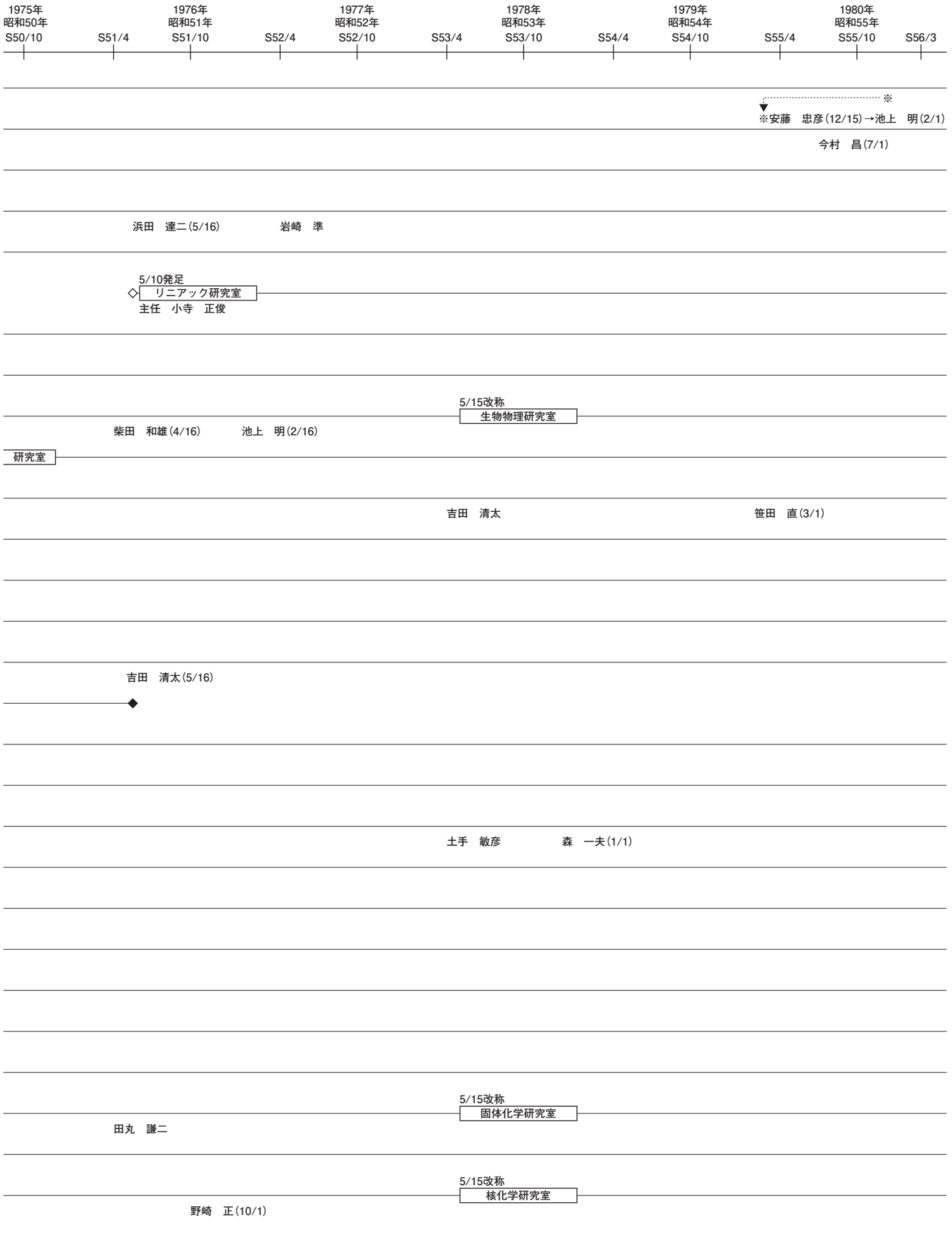


主任研究員研究室（特殊法人時代）（2-1）



研究員の推薦
主任研究員研究室（特殊法人時代）
（2・1）

	S45/4 1970年 昭和45年 S45/10	S46/4 1971年 昭和46年 S46/10	S47/4 1972年 昭和47年 S47/10	S48/4 1973年 昭和48年 S48/10	S49/4 1974年 昭和49年 S49/10	S50/4
生体高分子物理研究室 主任 深田 栄一						
同位元素研究室 主任 中根 良平						
放射線研究室 主任 浜田 達二						
結晶物理研究室 主任 菟原 仁						
サイクロトロン研究室 主任 熊谷 寛夫			松田 一久 (3/29) → 浜田 達二 (3/30) → 上坪 宏道 (7/1)			
宇宙線研究室 主任 宮崎 友喜雄				和田 雅美		
半導体工学研究室 主任 難波 進						
高分子物理研究室 主任 岩柳 茂夫						
精密工学研究室 主任 谷口 紀男				齊藤 弘義		◇◇ 粉粒体工学 主任 山口 賢治
機械計測研究室 主任 谷口 修			吉田 清太	◇◇ 摩擦工学研究室 主任 倉田 範宗 (5/1)		
変形工学研究室 主任 吉田 清太						
化学工学研究室 主任 井上 一郎						
光学計測研究室 主任 齊藤 弘義						
金属物理研究室 主任 橋口 隆吉						菟原 仁
電子計測研究室 主任 江副 博彦						小寺 正俊
マイクロ波物理研究室 主任 霜田 光一						
情報科学研究室 主任 後藤 英一						
核融合研究室 主任 岡本 耕輔						
5/1改称(電気材料研究室から) プラズマ物理研究室 主任 小島 昌治 (4/1)						土手 俊彦
磁性研究室 主任 渡辺 浩				岩柳 茂夫 (4/2)		関沢 尚 (2/1)
海洋物理研究室 主任 佐々木 忠義		宮崎 友喜雄 → 宇野木 早苗 (7/16)				
海洋計測工学研究室 主任 高野 健三 (4/1)		6/1改称 海洋計測工学第一研究室				
		◇◇ 海洋計測工学第二研究室 主任 宮崎 友喜雄 (6/1)		島 誠		
無機化学研究室 主任 玉虫 怜太						
セラミックス研究室 主任 阿刀田 徹三						
地球化学研究室 主任 島 誠 (4/1)						
核分析化学研究室 主任 齊藤 信房						
理論有機化学研究室 主任 長倉 三郎						



主任研究員研究室（特殊法人時代）（2-2）



研究室の推移

主任研究員研究室（特殊法人時代）

（2・2）

	1970年 昭和45年 S45/4	1971年 昭和46年 S46/4	1972年 昭和47年 S47/4	1973年 昭和48年 S48/4	1974年 昭和49年 S49/4	1975年 昭和50年 S50/4
有機化学第一研究室 主任 山崎 博史						
有機化学第二研究室 主任 緑川 沆						大石 武
有機合成化学研究室 主任 田原 昭						
放射線化学研究室 主任 今村 昌						
放射線生物学研究室 主任 松山 晃						
高分子化学研究室 主任 柳田 正也				深田 栄一	山田 瑛	
触媒研究室 主任 田中 一範						
抗生物質研究室 主任 鈴木 三郎						
◆(生化学第一研究室)						
5/1改称(生化学第二研究室から) 生化学研究室 主任 江本 栄						
微生物学研究室 主任 池田 庸之助			江本 栄→安藤 忠彦(6/1)			
醱酵工学研究室 主任 富金原 孝					掘越 弘毅	微生物生態学
5/1改称(動物生理研究室から) 動物薬理研究室 主任 光岡 知足(4/1)						
昆虫薬理研究室 主任 福永 一夫						
農薬合成第一研究室 主任 辰野 高						
植物薬理研究室 主任 柴田 和雄(4/1)						
微生物薬理研究室 主任 里見 朝正						
生物試験室 主任 川原田 璋				福永 一夫(12/1)		
農薬合成第二研究室 主任 松井 正直						
農薬試験室 主任 川原田 璋				5/1改称 植物化学研究室		
農薬合成第三研究室 主任 田村 三郎(4/1)						



1975年 昭和50年 S50/10	S51/4	1976年 昭和51年 S51/10	S52/4	1977年 昭和52年 S52/10	S53/4	1978年 昭和53年 S53/10	S54/4	1979年 昭和54年 S54/10	S55/4	1980年 昭和55年 S55/10	S56/3
--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------

田中 一範(1/9) → 大石 武(4/1)

今村 昌

磯野 清(4/2)

葛原 弘美

研究室

里見 朝正 深見 順一(12/1)

安藤 忠彦 井上 頼直(10/1)

辰野 高 → 里見 朝正(7/1)

中山 治彦(10/1)

高橋 信孝

小川 智也(3/1)

高橋 信孝

7/1発足
◇ レーザー科学研究グループ
主任 中根 良平(9/22)

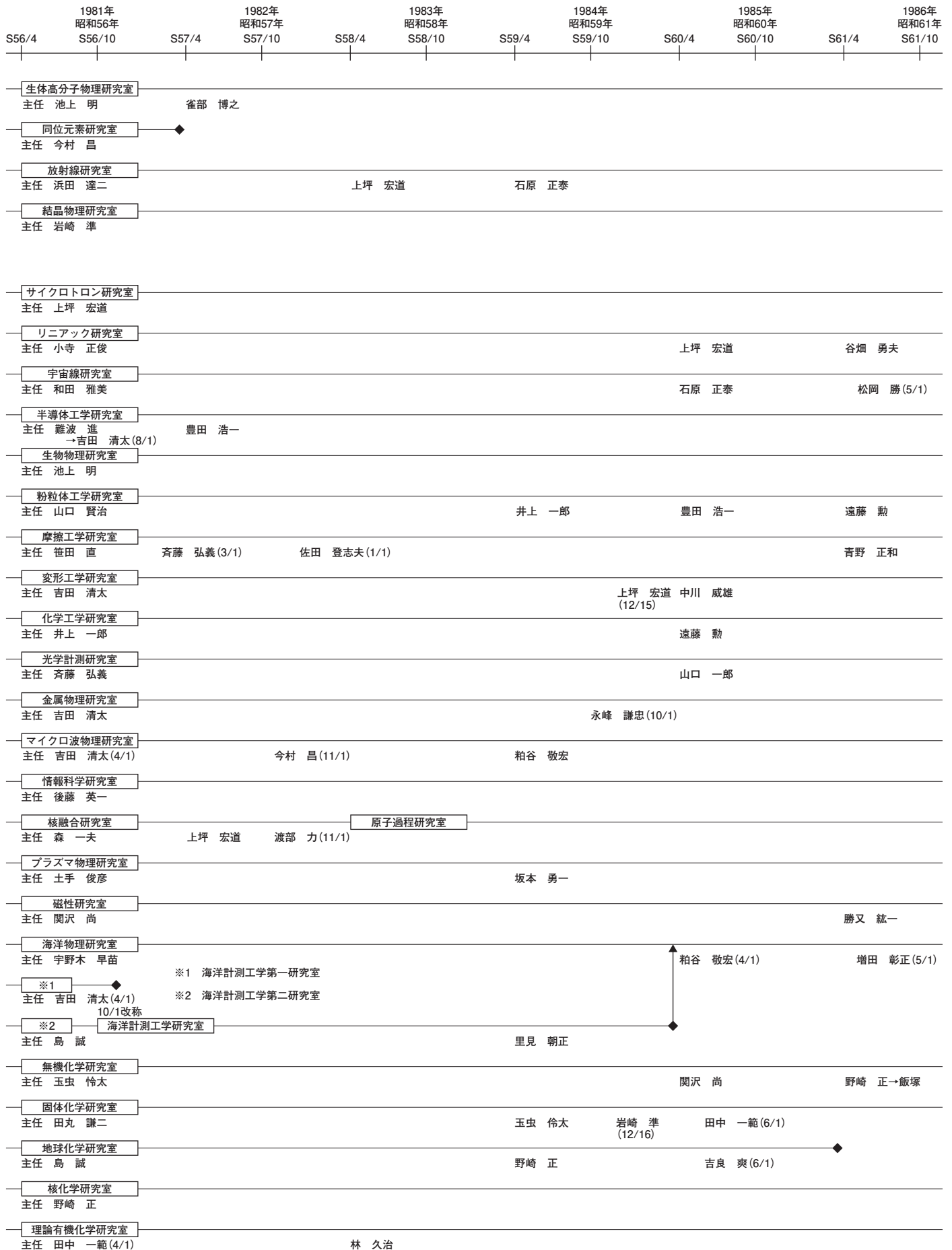
霜田 光一(12/1)

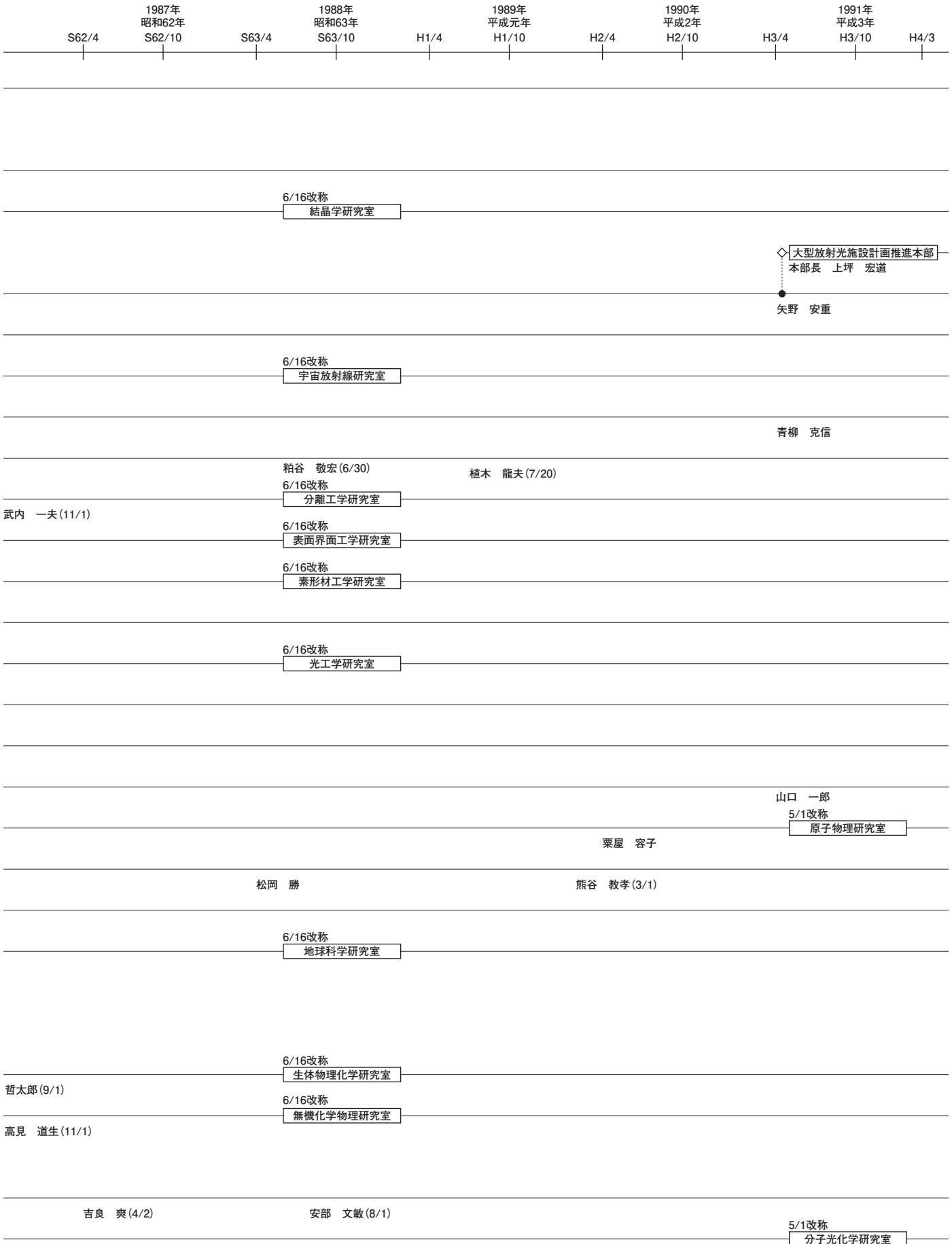
7/1発足
◇ 太陽光エネルギー科学研究グループ
主任 今村 昌
→ 井上 頼直
(11/1)

主任研究員研究室（特殊法人時代）（3-1）



研究員の推移
主任研究員研究室（特殊法人時代）
（3・1）

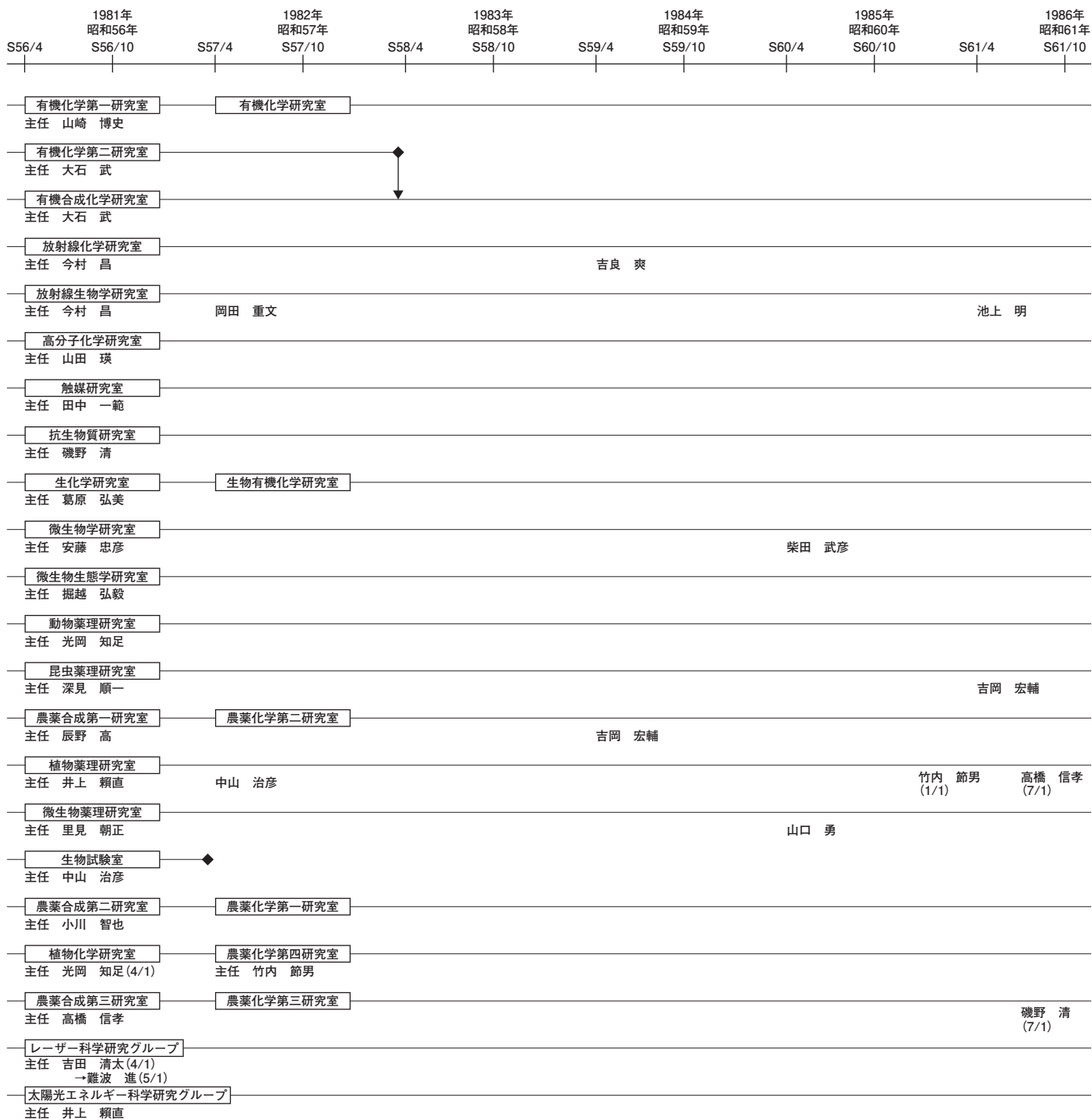


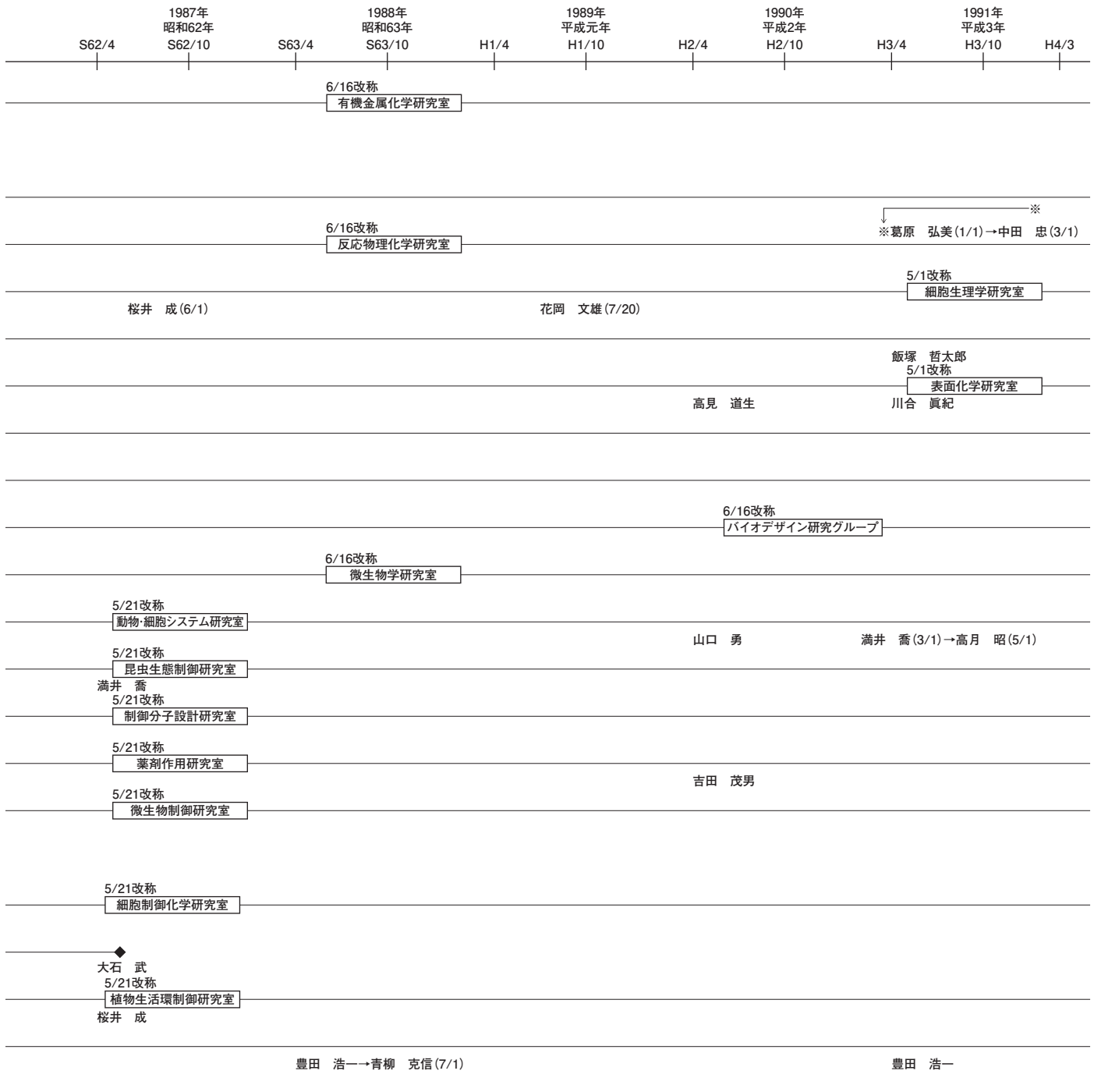


主任研究員研究室（特殊法人時代）（3-2）



研究員の推移
主任研究員研究室（特殊法人時代）
（3・2）



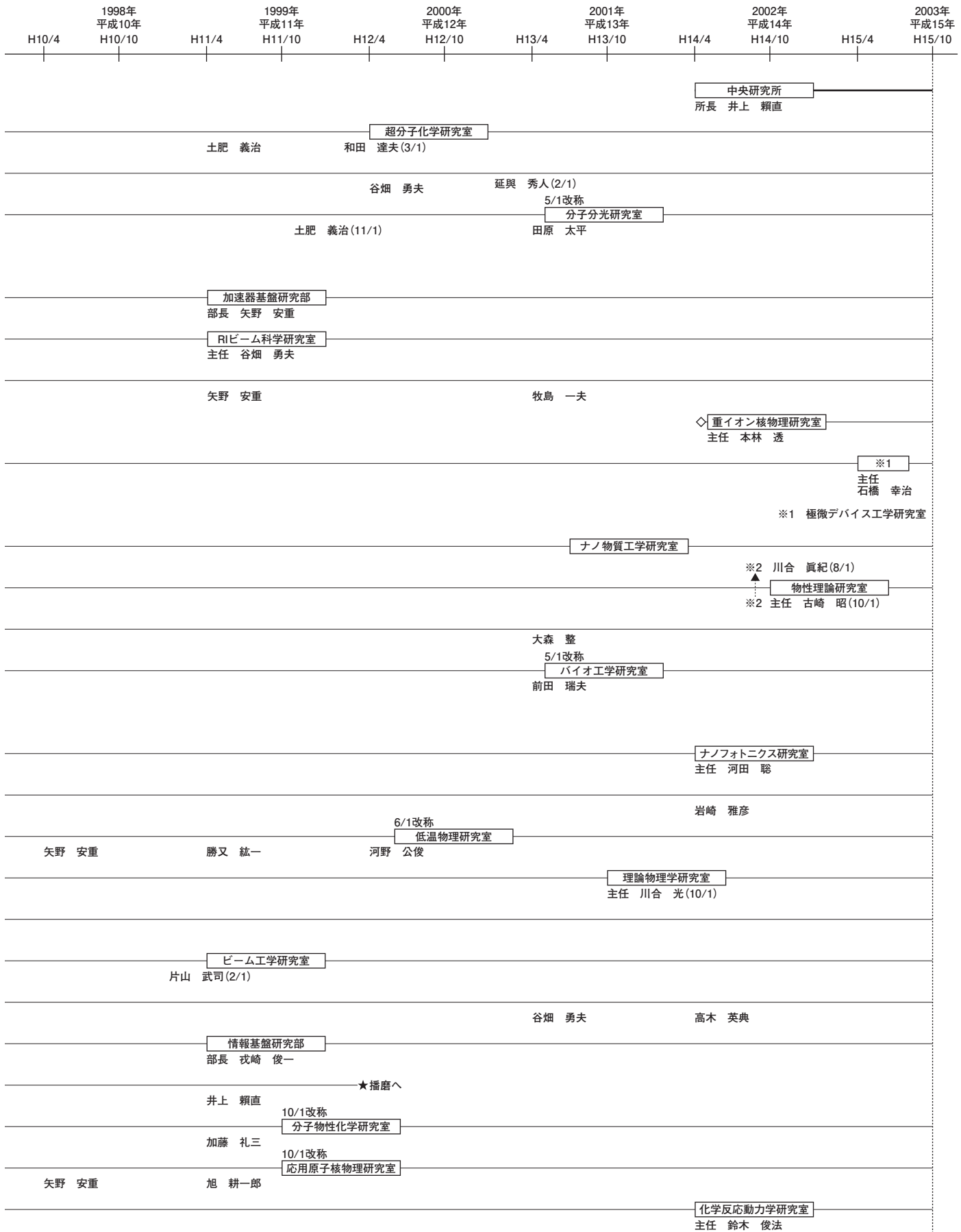


主任研究員研究室（特殊法人時代）（4-1）



研究室内の推移
主任研究員研究室（特殊法人時代）（4・1）

	H4/4 1992年 平成4年 H4/10	H5/4	H5/10 1993年 平成5年 H5/10	H6/4	H6/10 1994年 平成6年 H6/10	H7/4	H7/10 1995年 平成7年 H7/10	H8/4	H8/10 1996年 平成8年 H8/10	H9/4	H9/10 1997年 平成9年 H9/10
生体高分子物理研究室 主任 雀部 博之											
放射線研究室 主任 石原 正泰											
結晶学研究室 主任 岩崎 準									飯塚 哲太郎		矢野 安重 (8/1)
大型放射光施設計画推進本部 本部長 上坪 宏道											★播磨へ
サイクロトロン研究室 主任 矢野 安重											
リニアック研究室 主任 谷畑 勇夫											
宇宙放射線研究室 主任 松岡 勝											
半導体工学研究室 主任 青柳 克信											
生物物理研究室 主任 植木 龍夫									10/1改称 構造生物物理研究室 主任 井上 頼直		★播磨へ
分離工学研究室 主任 武内 一夫							レーザー反応工学研究室				
表面界面工学研究室 主任 青野 正和											
素形材工学研究室 主任 中川 威雄					武内 一夫 牧野内 昭武(10/1)				5/10改称 生化学システム研究室		
化学工学研究室 主任 遠藤 勲											
光工学研究室 主任 山口 一郎											
金属物理研究室 主任 永峰 謙忠					5/1改称 ミュオン科学研究室						
マイクロ波物理研究室 主任 粕谷 敬宏→青柳 克信(9/25)							石川 哲也(7/1)				
情報科学研究室 主任 田中 啓治(4/1)											矢野 安重 (10/1)
原子物理研究室 主任 粟屋 容子											山崎 泰規
プラズマ物理研究室 主任 熊谷 教孝											矢野 安重
磁性研究室 主任 勝又 紘一											
地球科学研究室 主任 松岡 勝(4/1)							計算科学研究室 主任 戎崎 俊一				
生物物理化学研究室 主任 飯塚 哲太郎											
無機化学物理研究室 主任 高見 道生											
核化学研究室 主任 安部 文敏											
分子光化学研究室 主任 林 久治											

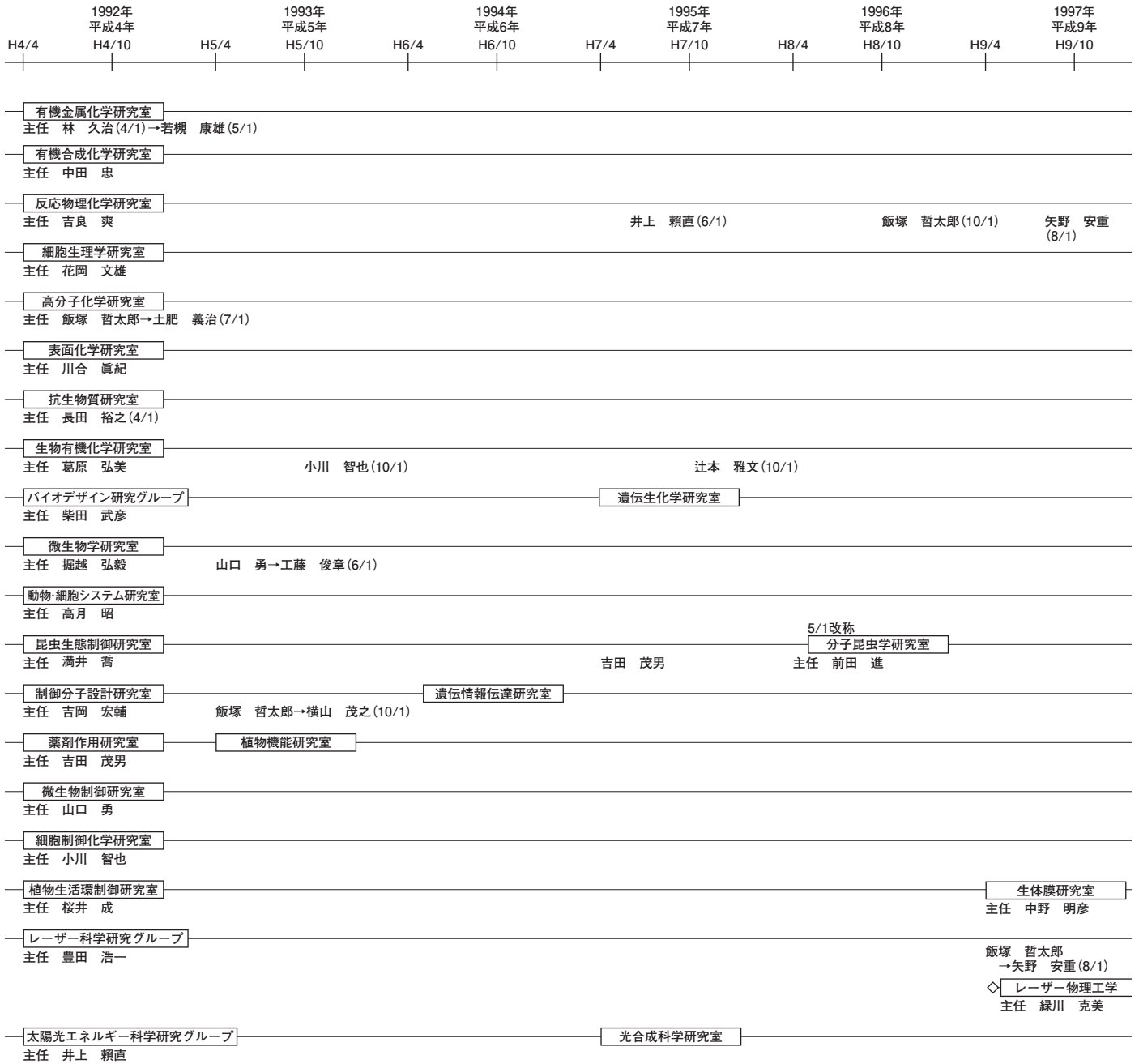


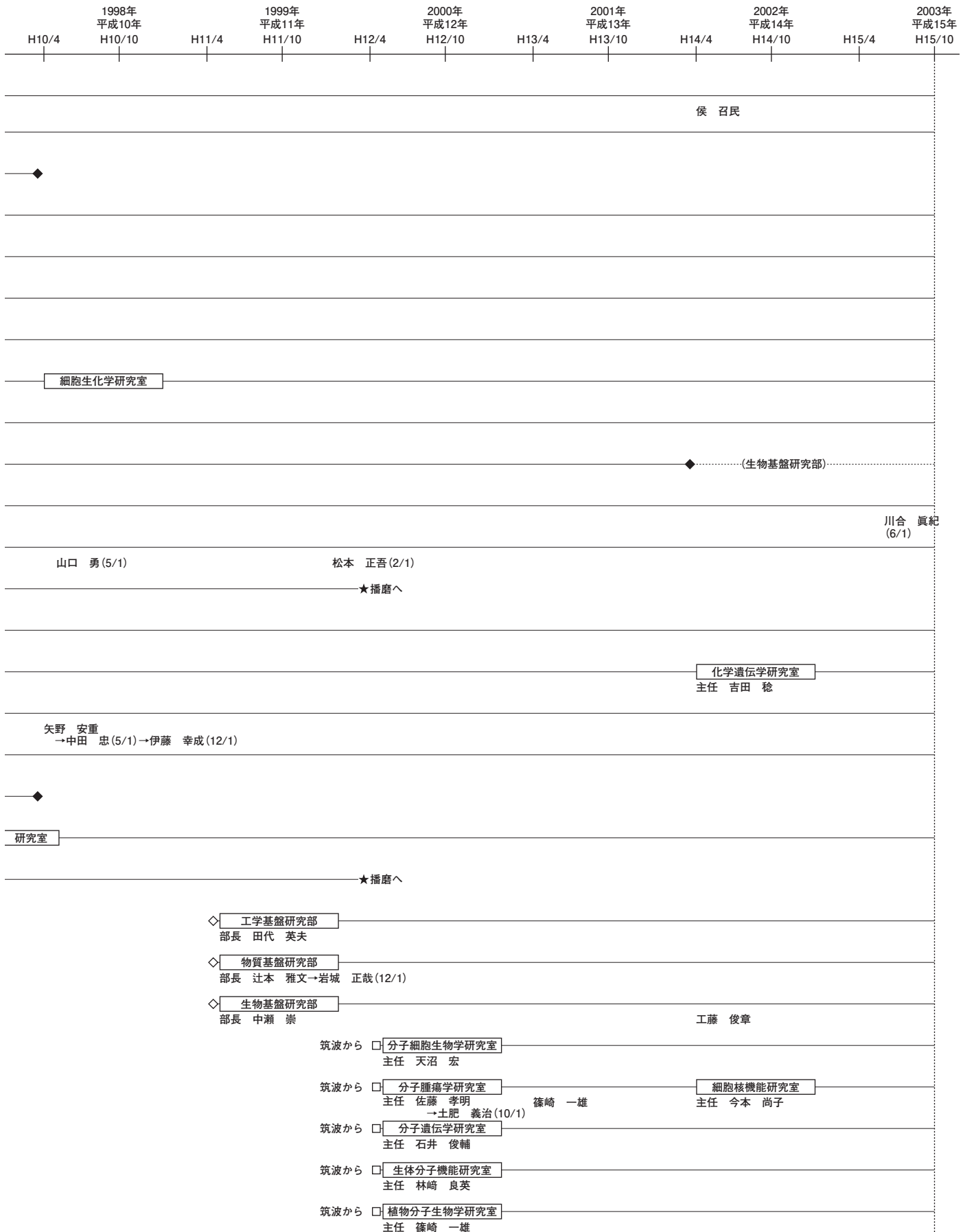
主任研究員研究室（特殊法人時代）（4-2）



研究員の推移
主任研究員研究室（特殊法人時代）

（4・2）

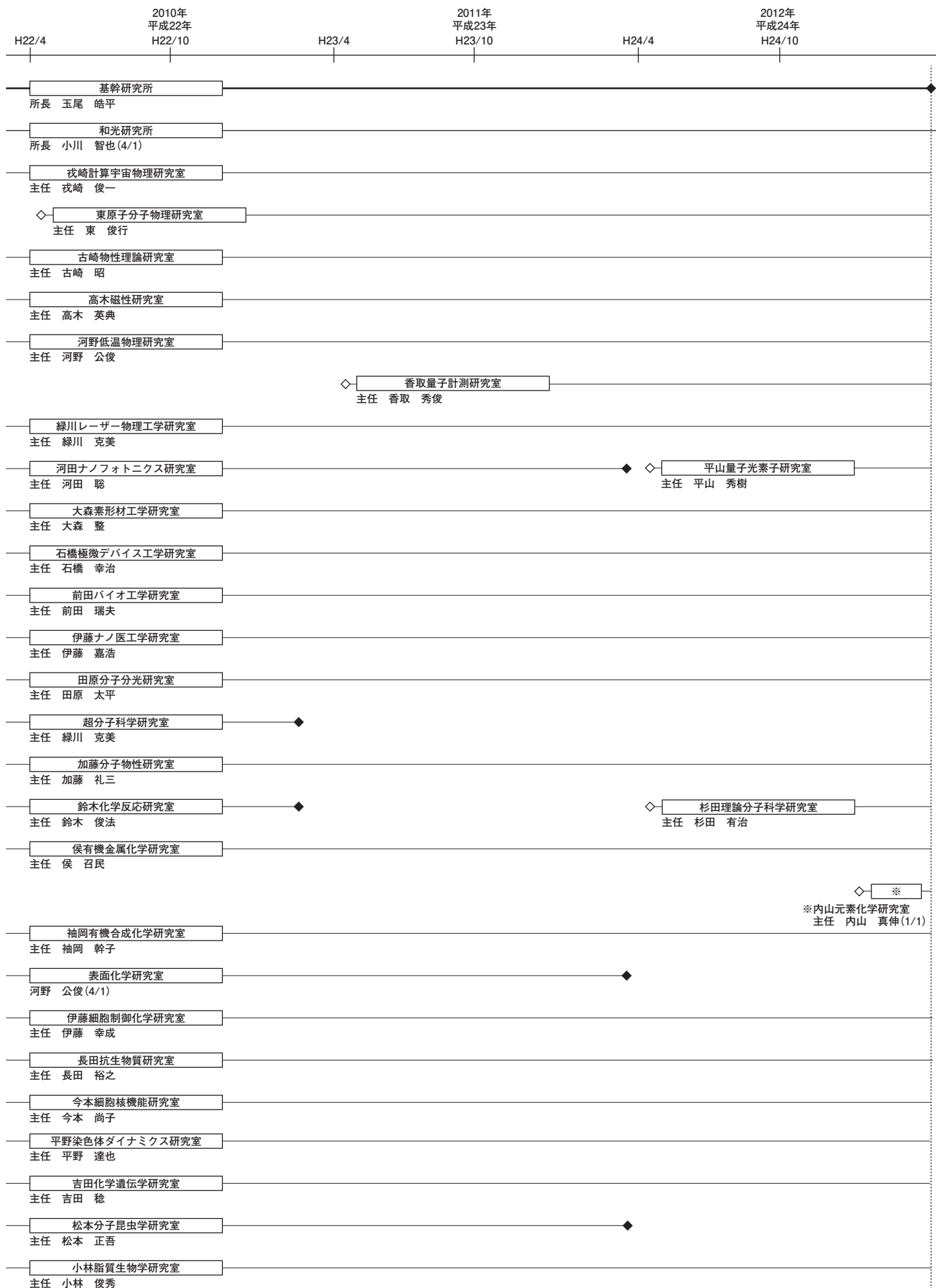


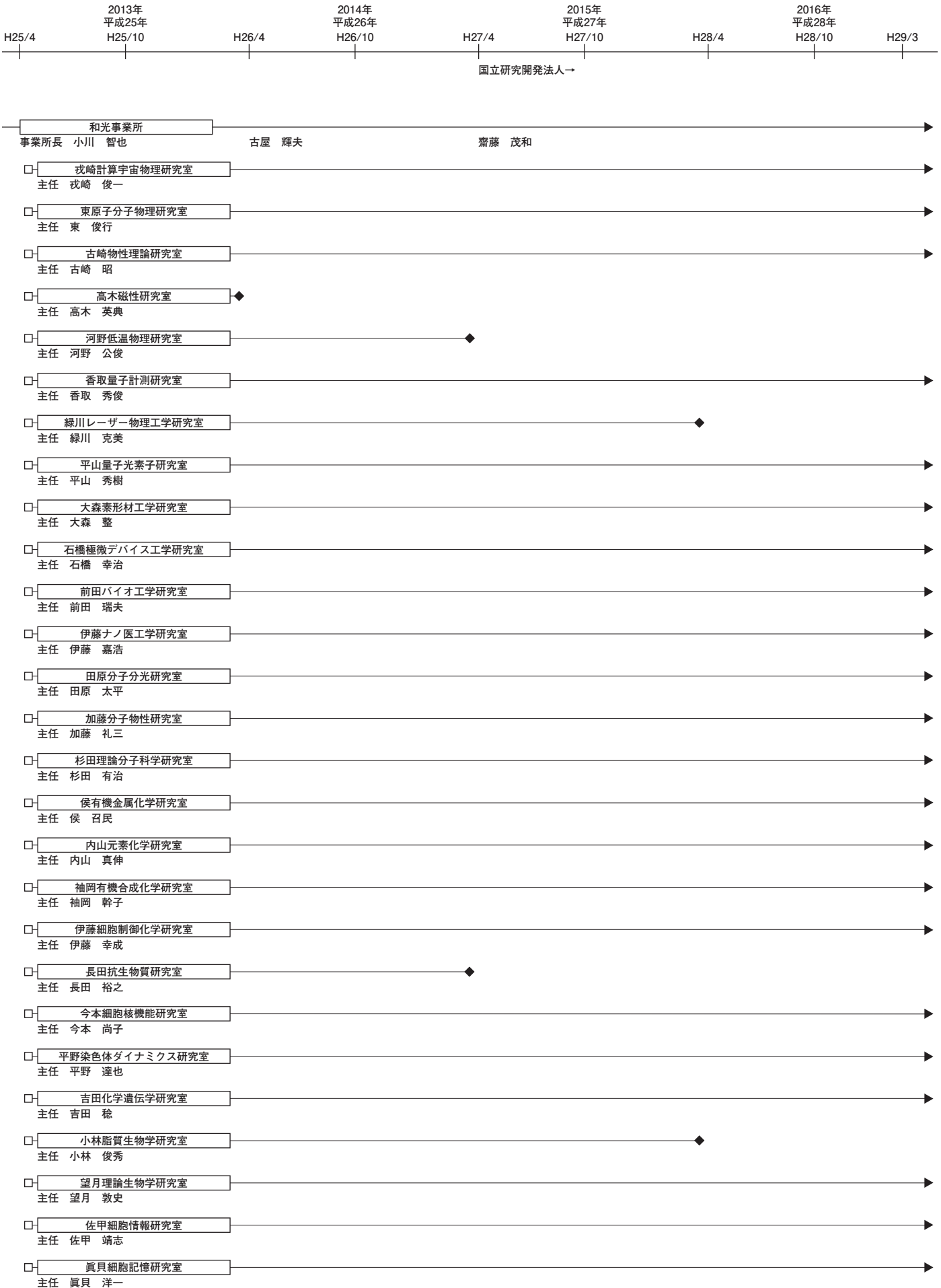


主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (1)



研究員の推移
主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (1)

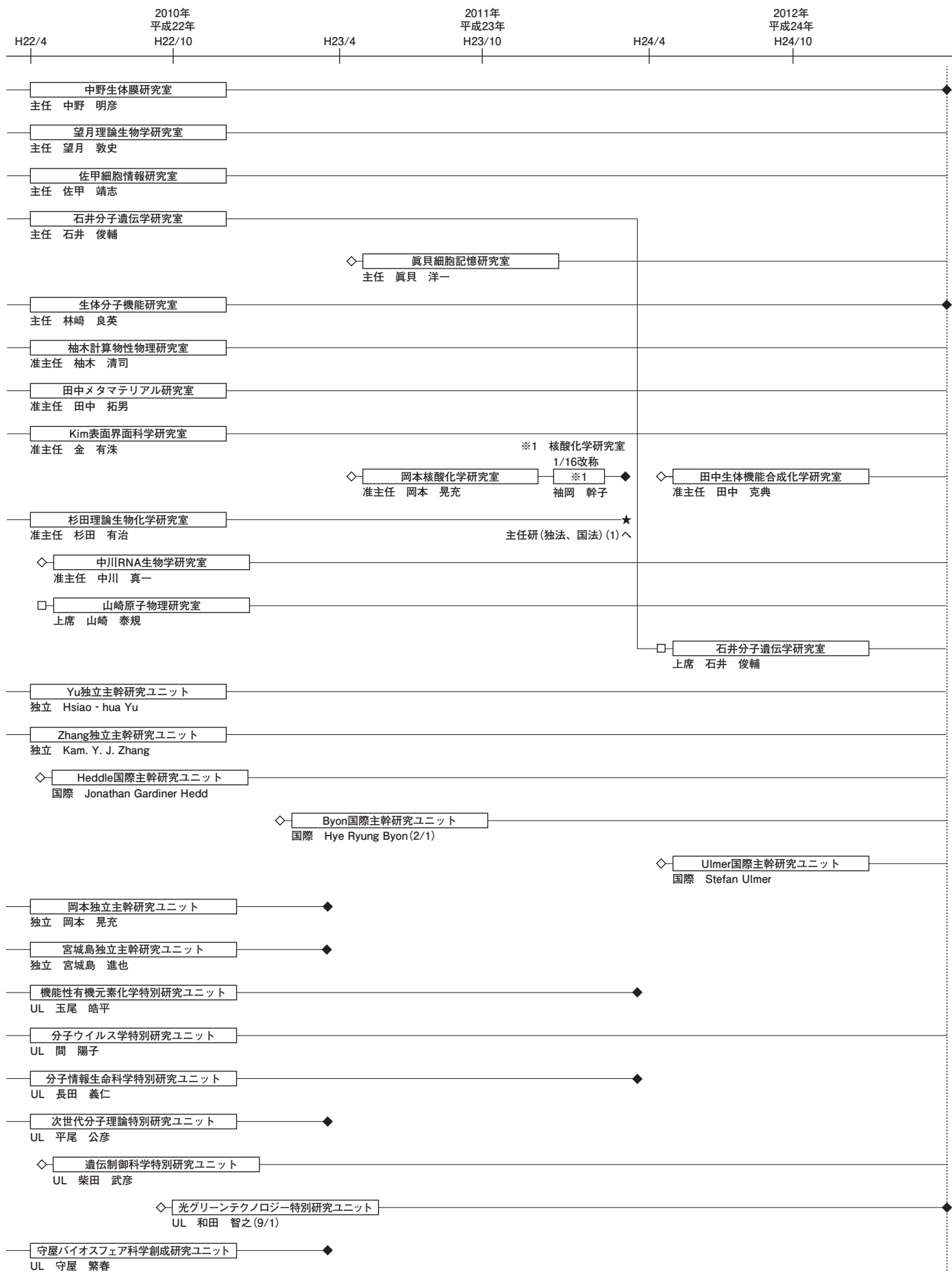


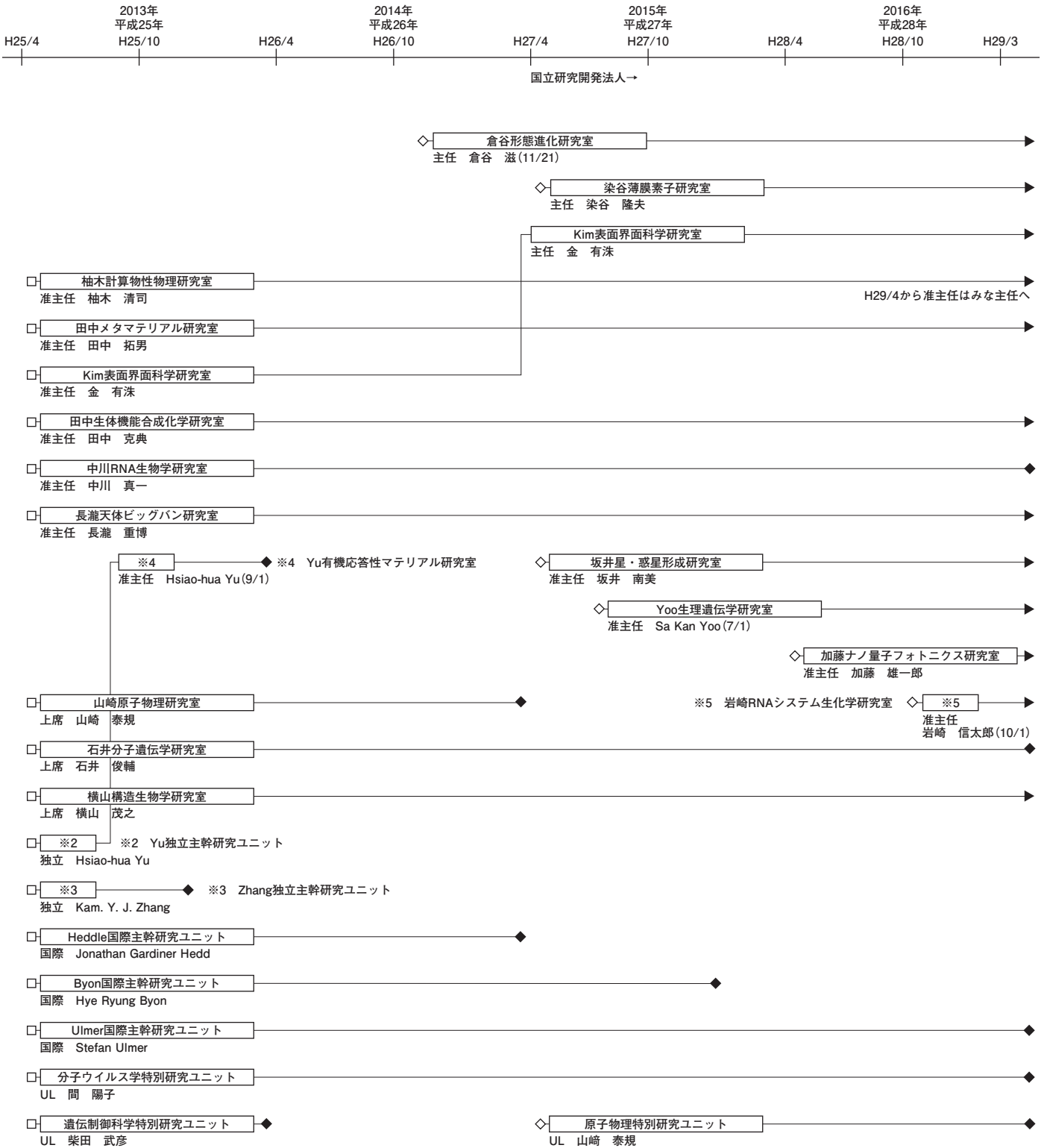


主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (2)



研究室の推移
主任研究員研究室 (独立行政法人、国立研究開発法人時代) (2)





生命システム研究センター



研究室の推移
生命システム研究センター



★ 統合生命医科学研究センターへ

室長 茶山 秀一

鈴	木	治	和	坪	井	裕	早	瀬	文	江	宮	川	壽	夫
関	戸	恵	子	坪	山	イ	ピ	エ	カ	ル	宮	川	眞	言
袖	岡	幹	子	土	七	子	エ	ロ	野	龍	六	車	眞	子
染	谷	隆	夫	土	陽	治	姫	野	山	詠	蕊	田	恵	誠
反	町	耕	記	十	義	好	肥	野	野	達	望	月	敦	史
泰	地	真	弘	富	好	悟	平	山	山	秀	望	月	優	子
高	木	英	典	富	久	行	廣	川	川	真	本	林	透	彦
高	梨	真	一	豊	久	眞	深	井	井	朋	桃	沢	幸	子
高	橋	一	篤	豊	佳	澄	深	萱	見	恵	森	永	千	子
高	橋	恵	郎	永	美	之	深	見	島	竹	森	畑	美	穂
高	橋	勝	美	中	直	人	福	島	井	三	柳	本	幸	司
高	橋	政	緒	中	真	一	藤	藤	田	智	矢	野	敏	雄
高	口	一	代	中	裕	志	藤	藤	原	明	矢	橋	安	重
田	市	雅	徳	永	礼	二	船	船	田	正	山	形	牧	名
竹	内	一	俊	長	重	博	船	船	橋	孝	山	山	一	豊
武	谷	誠	夫	中	明	彦	古	古	崎	京	山	山	時	敦
竹	田	司	誠	永	光	崇	古	古	田	泰	山	山	一	郎
多	中	彦	司	中	功	丞	古	古	屋	輝	山	山	時	男
田	中	典	典	中	重	希	星	星	野	拓	山	山	芳	樹
田	中	治	治	中	祐	輔	星	屋	屋	繁	山	山	泰	規
田	中	男	男	中	幸	夫	細	江	川	治	山	山	宏	一
田	中	博	博	西	直	樹	前	川	田	倫	山	山	正	純
田	中	均	均	西	実	希	前	田	田	瑞	山	山	翔	太
谷	口	美	美	西	朋	純	前	島	島	一	山	山	一	眞
谷	口	之	之	温	勝	子	牧	野	内	昭	遊	谷	喜	代
谷	原	克	平	根	嘉	敏	牧	本	本	義	油	山	泰	明
田	尾	平	平	野	岳	之	増	尾	岡	佳	横	木	茂	之
玉	川	徹	徹	野	慎	大	松	岡	岡	文	吉	田	一	肇
玉	作	治	治	野	しの	一	松	崎	崎	友	吉	田	美	穂
樽	茶	悟	悟	野	良	治	松	島	林	康	米	倉	代	子
千	葉	穂	穂	初	哲	男	松	松	本	一	若	林	文	高
佃	澤	文	博	花	文	雄	松	松	山	瑛	和	田	昭	允
津	上	元	一	羽	宏	光	丸	丸	山	亮	渡	田	道	治
辻	屋	敏	孝	濱	博	司	丸	三	木	一		辺	恭	良
辻	精	晴	邦	林	茂	生	三	緑	川	介				
土	精	達	文	林	敬	之	緑			郎				
堤	達	彦	史	林	良	央	南			美				
角	彦	彦	彦	林	良	英				垂				

理化学研究所百年史編集委員会

編集委員長 松本洋一郎

編集委員

有 信 睦 弘

板倉周一郎 (2017年4月～)

羽入佐和子 (～2016年3月)

六 戸 博

安 藏 俊 成

加 藤 重 治 (～2017年3月)

小 安 重 夫

小 谷 元 子 (2017年4月～)

坂口昭一郎

加賀屋 悟

りかがくけんきゅうしよひやくねんし
理化学研究所百年史 第Ⅲ編 資料

RIKEN's First Century, Volume III : Data

2018年3月20日発行

非売品

企画・編集：理化学研究所百年史編集委員会

発 行：国立研究開発法人理化学研究所
〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

印刷・製本：河北印刷株式会社

〒601-8461 京都市南区唐橋門脇町28

©RIKEN 2018 Printed in Japan

ISBN978-4-9910056-2-6
RIKEN 2017-057